

富士登山唱歌

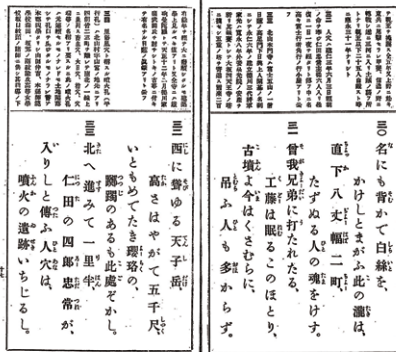
富士登山は戦国時代に一般庶民に広まったと考えられており、その後、富士登山を記録した「登山記」や、富士登山者向けの「登山案内図」が作られました。

明治時代には、富士登山中の風景や市内の名所・旧跡などを紹介する歌が作られました。

明治42(1909)年に赤池常作^{あか いけ つね さく}*1が作詞した唱歌『地理教育 富士登山唱歌』が作られ、現在は国立国会図書館のウェブサイトで閲覧することができます。



地理教育 富士登山唱歌



白糸の滝を紹介する歌

▲出典：国立国会図書館ウェブサイト



『地理教育 富士登山唱歌 大宮口登山のとも』

歌詞は70番まであり、浅間神社(現在の富士山本宮浅間大社)や湧玉池、狩宿、白糸の滝、人穴などの紹介のほか、山部赤人^{やまべのあかひと}*2が富士山の和歌を詠んだことや、源頼朝が富士の巻狩り^{まきうり}*3の時に、狩宿の下馬ザクラで馬からおりサクラに馬をつないだこと、建仁3(1203)年の巻狩りの際に仁田四郎忠常^{にったしろうただつね}*4が人穴の洞穴を探検したことなど、歴史上のできごとや伝承が歌われています。

富士登山唱歌は、生まれ育った土地の歴史や地名などについて学んだり、愛着を持つことができるよう、地理の教材としても使われたと考えられています。

- ※1 明治39(1906)年12月～明治43(1910)年4月に当時の富丘小学校で歴史と図画(美術)について教える訓導(旧制小学校の正規の職員の名称で、現在の教諭のこと)であったとされる。
- ※2 奈良時代の歌人
- ※3 建久4(1193)年に富士山の麓で行われた大規模な軍事演習のこと。
- ※4 平安・鎌倉時代の伊豆の武士。



白糸の滝



登録すると、富士宮市の歴史や文化など、さまざまな情報を検索できます。



富士宮を知る・学ぶ

<p>富士宮市</p>	<p>富士山SDGs</p>
<p>歴史・文化</p>	<p>市内の企業</p>

メニューを選んでください

歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料** 500円
- 申** 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他** 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問** 文化課 ☎22-1187
 ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

